

「生きる力を育成する教育の創造」

一 「わかる授業の工夫」と「家庭学習の充実」を通して確かな学力の定着を図る一

I 主題設定の理由

これまで本校は、評価のあり方に関する学習、評価規準の作成、評価方法の工夫改善を研究・検討してきた。また、「キャリア教育実践プロジェクト」の指定を受け、先を見通した進路指導の在り方について本校独自の「キャリア教育」の全体計画・年間計画の作成を行った。その後、新学習指導要領への移行を視野に入れ、平成20年度より「生きる力を育成する教育の創造」を研究主題に掲げ、新学習指導要領に基づく年間指導計画の作成、また、それを踏まえた授業実践を行った。各教科でも「学び合いのかたち」を授業の中に効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を図りながら、「思考力・判断力・表現力」を養う授業展開の工夫を行ってきた。その結果、相手の考えや意見を理解しようと努める意識が高まり、学び合いの活動に生徒自身が深まりや広がりを実感することができた。また、基礎学力の定着を図るために、国語・数学・英語の基礎的な知識や技能を問う「三大会」の取組を伝統的に毎年実施しており、「家庭学習ノート」の取組も並行して行ってきた。

今年度は、昨年度取り組んだ研究テーマをさらに進化発展させていきたい。一人一実践の授業を「スキルアップ授業」と位置づけ、自由に公開する中で、授業力の向上を図ったが、今年度も継続し、教師の力量の向上を子どもに反映させていきたい。また、昨年度、家庭学習のノートを「松中ノート」と名付け、全校統一の形式を整え取り組み、保護者にも協力を仰ぐ中で定着を図った。今年度はさらに定着率を向上させ、質の高い家庭学習になるよう取り組ませたい。見本となるような生徒のものを自由に見られる環境も必要であろう。さらに、今年度は「学びの集会」を実施したい。これは、異学年と交流したり、意見を聞くことで、自分自身の学びに対する意識向上が図れると考えられる。

II 研究の内容と方法

○家庭学習の充実、家庭との連携

ア 自主学習ノート（松中ノート）の効果的な活用。

イ 三大会に向けた取り組み。

ウ 甲州市「家庭学習の手引き」の活用 基礎・基本の定着

○授業づくり、授業力の向上

ア スキルアップ授業（一人一実践）による授業の見せ合い

イ 指導方法の研究と実践

・少人数・チームティーチング・習熟度・グループ学習の活用。

・多様な人間への個に応じた指導の在り方の研究。

・言語活動の充実を図る授業づくり、問題解決型学習の授業づくりの意義やポイントについて各教科ブロック研究会での情報交換。

ウ 全体での研究授業と事後研究会。

エ 生徒への事前・事後アンケートの実施による、生徒の学習に対する変容の見取り。

○集団の質の向上

ア 学習規律の環境整備。

- ・Q-U調査の実施・結果分析・情報交換（学力向上プロジェクトとの連携）
- ・K-13法を取り入れての、学級や生徒の変容の確認。よりよい集団作り（学力向上プロジェクトとの連携）。
- ・「話を聞く」「時間を守る」「あいさつ・返事」に関する指導の共通確認。

イ 「学びの集会」を行うことによる、意識の高揚化。

ウ 学年やクラスで集団の意識を高めるような働きかけ。

Ⅲ 成果と課題

1 成果

7月と12月に生徒アンケートを実施している。これは、学習に対する意識の変容を見とるものである。項目は全部で15あり、「授業規律に関わる項目」「授業の受け方や表現力に関わる項目」「家庭学習に関わる項目」に分かれている。「授業規律に関わる項目」に関しては、肯定的回答が90%を超えており、かなり定着していることがわかる。これは、学年委員会を中心とした「授業評価シート」の取り組みが効果を上げていると言える。単に数値だけ、結果だけを追求するのではなく、「なぜ授業態度を向上させることが必要なのか」「なぜ活発に発言することが必要なのか」を考えさせるようにしている。今年初めて行われた「学びの集会」も意識を高めるきっかけになったと思われる。「授業の受け方や表現力に関わる項目」に関しても、肯定的回答が80%を超えていて、意識を高く授業を受けている生徒が増えてきていることがわかる。

2 課題

表現力（音声表現、文字表現）という面においてはまだまだ課題が残るので、今後も粘り強く取り組んでいく必要がある。学級でも短学活などで発表する機会を設けるなどの取り組みも行っている。「家庭学習に関わる項目」に関しては、だいぶ定着してきたとはいえ、「松中ノート」に関する数値が一番低い。しかし、見本となるようなものを全校生徒が手にとって見られるような環境を作ったことによって、参考にして、工夫するようになった生徒が増えたというよい面も見られる。長期休暇中も欠かさず取り組む生徒もいる。保護者への働きかけも含め、今後も継続していきたい取り組みである。

Ⅳ 成果物

- 1 スキルアップ授業の実践報告シート（一人一実践）
- 2 第1学年国語科学習指導案
- 3 「学びの集会」の実施
- 4 授業評価シート
- 5 松中ノート（家庭学習ノート）

（研究主任 依田久幸）